

〔紹介〕

日本柔道整復師会編『日本整骨術全集』

近時、わが国古書市場での古医書の流通が品不足で、古医書の価格が年々昂騰の一路を辿り、原本の入手が個人の懐具合では、もはや限界に近いところに来ている。

このような現状からみて、古医書の復刻は、医史学研究者にとつて、何よりの朗報であらう。

幸い、写真製版の発達が目ざましく、写真縮小製版によって、原本の数十分の一の価格の復刻本が出廻るようになったので、それらを手際よく備え付ければ、図書館を歴訪する時間と手間がはぶけるし、マイクロフィルムやゼロックスによるコピーより安価につく。

漢方関係では、国宝仁和寺本を含む『東洋医学善本叢書』（全七巻、東洋医学研究会刊・昭五六）・『難経古注集成』（全六巻、同前・昭五七）などの個人では入手不能な最善本の復刻があり、『近世漢方医学書集成』（名著出版）は全百巻という歴大なもので、すでにⅠ・Ⅱ期の刊行を終え第Ⅲ期に入っている。代表的医家別に代表作を集録して便利で、これにもれたものを図書館で探せば良く能率があがる。

ここに紹介する『日本整骨術全集』は、日本柔道整復師会が『日整六十年史』を編纂した機会に、整骨術の古典復刻を計画し、中国伝来系・西洋伝来系・日本独自の実証的研究系の三系統の代表的古医書を網羅したもので、この方面の研究には欠かせぬ資料集となっている。実証的研究系では、身幹儀説（星野良悦の序と大槻玄沢の訳文ほか）・身幹正的（大槻玄沢付言・小石元俊賛

ほか）・華岡青洲整骨法（カラー図版）・整骨撥乱（各務文獻稿）・整骨新書（各務文獻・各骨真景図一卷・全骨玲瓏図二葉付）・折

曠要訣（加古良玄）・天神真楊流伝書・鈞玄四科全書整骨篇（奥田万里稿）・原沢文仲整骨図・秋月胤永整骨図・多々玄泰筆写本・高岡政長整骨図を収録して内容豊富である。

各書の解説には、一部首肯し難い点もあるが、上・下二千五百余ページにも及ぶ大冊の資料集を刊行された日本柔道整復師会の方々の熱意に感謝したい。

（宗田 一）

（B5判、上・下二冊、二、五四六ページ、揃四万円、梓川書房）東京都新宿区矢来町二二ノ刊、昭五六）